

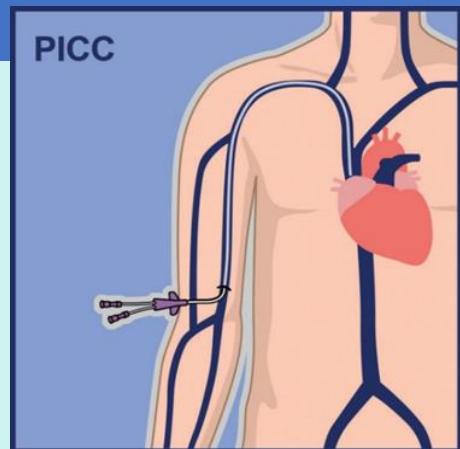


PICC末梢挿入型中心静脈カテーテル (peripherally inserted central venous catheter)

末梢挿入型中心静脈カテーテルPICC（ピック）とは、肘の静脈（尺側皮静脈、橈側皮静脈、肘正中皮静脈など）を穿刺して長いカテーテルを挿入し、腋窩静脈、鎖骨下静脈を経由して上大静脈に先端を位置させるものです。上腕からのアプローチのため、皮膚温の低さや常在菌の少なさから感染のリスクが少なく、長期間の留置が可能です。また、PICCは一度挿入するとカテーテル感染や閉塞が起こらない限り入れ替える必要がなく、長期に渡って使用できるカテーテルです。他の中心静脈カテーテルと比較して、腕から比較的簡単に挿入できるため、致死的合併症も少ないとから安全性の高い方法です。

PICCが適応になる患者さんは？

- ・6日を超える持続点滴が必要になった
- ・末梢静脈からの投与がふさわしくない点滴薬剤を使う
(高カロリー輸液、循環作動薬、抗がん剤など)
- ・抗がん剤投与（間欠的投与も含む）
- ・ご自宅や施設で治療や療養をする
- ・ターミナルケア
- ・血管がわかりにくいと言われる、何度も刺される



◆PICCのメリット

- ①長期間治療が必要な場合でも、末梢静脈留置針のように定期的な入れ替えは基本的に必要ない。
- ②何度も針で刺される苦痛がない。
- ③長期間使用することができる
- ④腕から挿入するので、肺や大きな血管を損傷するなどの合併症は起こらない。
- ⑤刺激の強い薬剤を使用しても、血管を痛めることがない。

◆PICCのデメリット

- ①長いカテーテルが血管の中に入るので、靜脈炎を起こす可能性がある。
- ②カテーテルが詰まって、使用できなくなることがある。
- ③カテーテルが体の外に出ているので、ひっかけないようにするなど管理に注意が必要となる。

・医療機関様からの予約制となっております。適応患者さん、禁忌または考慮が必要な患者さんは確認ご相談の上、ご予約ください。

医療法人倚山会

田岡病院



◆問い合わせ窓口

〒770-0941 徳島県徳島市万代町4丁目2番地2

電話：088-622-7788 FAX：088-655-3077

患者支援センター：tel 088-612-8727
fax 088-612-8630

田岡病院 患者支援センター 行 FAX: 088-612-8630
令和 年 月 日

【PICC】申込書 兼チェックリスト

病院/施設名

申込者 (職種)
電話番号 フリガナ
FAX番号 患者氏名 様

| | | | |
|---|------|-------|--------------------|
| PICC・CVC・ポート留置歴 | 無 | ・ | 有 (部位 :) |
| PICC留置希望部位 | 右 | ・ | 左 |
| ペースメーカー | 無 | ・ | 有 |
| 透析シャント | 無 | ・ | 有 (部位 :) |
| 高血圧 | 無 | ・ | 有 |
| 糖尿病 | 無 | ・ | 有 |
| 緑内障 | 無 | ・ | 有 |
| 抗凝固薬 | 無 | ・ | 有 () |
| 感染症 | 無 | ・ | 有 () |
| アレルギー | 無 | ・ | 有 () |
| 上腕浮腫 | 有 | ・ | 無 右 ・ 左 |
| 上腕拘縮 | 有 | ・ | 無 右 ・ 左 |
| 意思疎通 | 良 | ・ | 不良 |
| 移動 | 自立 | ・ | 要介助 |
| 認知症 | 無 | ・ | 有 |
| 酸素 | 無 | ・ | 有 → ネーザル・マスク () L |
| 点滴 | 無 | ・ | 有 |
| 希望日 基本的には木・金でお願いしています 急ぎの場合は、要相談可 | | | |
| 来院方法 | 自家用車 | ・ 施設車 | ・ その他 () |
| 付き添い | 無 | ・ | 有 → (続柄 :) |
| 保険会社の診断書 | 必要 | ・ | 不要 |

<備考>

※ご予約は、申込書（本用紙）と紹介状をFAXして下さい。折り返し、担当よりお電話致します。
※貴院入院中の方についても、田岡病院で保険証の提示や会計が必要である旨を本人、ご家族様へ
お伝え下さい。